

ベトナム人技能実習生の帰国後のキャリア意識 ——元技能実習生日本語教師へのアンケート調査を基に——

宮谷 敦美

1. 問題の所在と研究の目的

日本国内の技能実習生は、2018（平成30）年末現在328,360人¹⁾であり、2011（平成23）年の143,308人²⁾から毎年その数を伸ばしている。ベトナム人の技能実習生数は、2016（平成28）年に中国を抜き第1位となり、2018（平成30）年末現在、164,499人で全技能実習生数の約50%を占める。これに伴い、ベトナムの技能実習生送出機関³⁾では、技能実習生に日本語を教える教師が不足し、優秀な教師獲得と教師養成が大きな課題となっている。

筆者は2019年4月から2020年3月まで、ベトナムのハノイ近郊にある技能実習生送出機関（以下、送出機関）数社で、技能実習生への日本語教育調査を行なっている。この一連の調査活動の中で、技能実習生への日本語教育を担っているのが元技能実習生であることを知った。筆者が知る送出機関の日本語教師は、7割から8割程度が元技能実習生である⁴⁾。またひとつの送出機関に長く勤務する日本語教師は少なく、比較的短期間で他の送出機関に転職したり、日本語教師を辞め他の職業に就くことも比較的多いようである。

帰国した技能実習生が日本で実習した職種を選ぶことが少なく、技能実習制度の本来の目的である技術移転になっていないという問題点は、西川（2018）、岩下（2018）等ですでに指摘されている。また、木元他（2016）は、技能実習中に得た日本語能力を活かして、インドネシア人の元技能実習生が帰国後に日本語教師を選択していることに言及している。筆者は、元技能実習生が日本語教育を担っているという現状に注目し、元技能実習生の日本語教師が、「日本語教師」という職業をどのように捉えているかを明らかにすることで、現在ベトナムの送出機関で喫緊の課題となっている日本語教師養成の手がかりを得ることができるのではないかと考えた。この

ような問題意識から、送出機関で働く元技能実習生の日本語教師を対象に、彼らがどのように職業を選択しているのか、アンケート調査を行なった。本稿では、その結果を紹介し、非母語話者日本語教師養成について、今後考えるべき点を整理したい。

2. 元ベトナム人技能実習生の職業選択に関する研究

技能実習生に関する研究は、技能実習生がおかれている労働環境や、帰国した技能実習生の職業選択が技能実習で行なった職種と異なっており、技術移転を通じた発展途上国への国際協力を目的とした本制度の趣旨から乖離している現状など、制度自体を批判的に捉えたものが多い。

帰国した実習生のうち、日本で経験した技能実習の職種に就いているかどうかについて全体像を把握できるデータは見当たらないが、厚生労働省が毎年実施している「帰国技能実習生フォローアップ調査」によると、2018年度の報告では、帰国後の職業が決定していると回答した52.0%⁵⁾のうち、「実習と同じ仕事(49.9%)」または「実習と同種の仕事(19.8%)」と回答した人が69.7%と、技能実習での経験が役に立っていることを示す数値が発表されている⁶⁾。

一方で、技能実習生の帰国後の職業選択において、技能実習の内容とつながっていないことを指摘する先行研究もある。

ベトナム人技能実習生の帰国後の職業選択に関する先行研究として、西川(2018)、岩下(2018)がある。西川(2018)は、主に製造業の技能実習を行ない帰国した技能実習生250人を対象に電話による追跡調査を実施し、180人(男性127人、女性53人)から回答を得た。調査の結果、就業者135人のうち製造業従事者が72人、非製造業従事者が63人であり、現地製造業での就業の継続は限定的であることと、製造業就業者の所得が非製造業就業者より高いにもかかわらず、あえて非製造業を選択している帰国生が存在することを指摘している。

岩下(2018)は、ハノイおよびハノイ近郊に在住する元技能実習生20人(男性12人、女性8人)に、帰国後の職業選択とその経緯、技能実習で身に付けたことのうち帰国後に役立ったことについて聞き取り調査を実施している。その結果、技能実習の職種につながる職業選択をした人はいなかったこと、また、実習で学んだことで帰国後最も役に立ったことは、「日

本語」や「日本のマナー」、「日本の仕事の方法」であり、「実習した技能」という回答はなかったと報告している。そして、実習生の多くが技能実習で得た業務上の知識・技術ではなく、習得した日本語を活かしてキャリアアップを図っている現状を指摘している。なお、岩下（2018）の被調査者のうち、日本語教師が13人、送出機関の営業が2人と多いことから、帰国後、技能実習生の送出機関で働くことが、元技能実習生が容易に見つけることができる職業のひとつであると推測できる。

3. 元技能実習生日本語教師へのアンケート調査

送出機関で働く元技能実習生の日本語教師を対象にアンケート調査を行った。調査目的は、彼らが日本語教師になった動機と、日本語教師を彼らのキャリア全体においてどのように位置づけて考えているのかを明らかにすることである。

3.1. 調査方法

調査は、筆者が日本語教育調査を行なっている送出機関に依頼し、研修の際に無記名でアンケート用紙に記入する方法と、知り合いの送出機関に協力を依頼し、google formで情報を収集する方法で実施した。質問文はベトナム語と日本語を併記し、詳しい情報を得るために、ベトナム語または日本語で回答するように依頼した。主な調査項目は以下の通りである⁷⁾。

- ① 日本語教師になろうと思った時期、理由
- ② 日本語教師をいつまで続けるか
- ③ 将来したい仕事
- ④ 技能実習の仕事を選択しなかった理由
- ⑤ 技能実習生の経験で役に立っていること

3.2. 回答者に関する情報

アンケートは2019年10月1日から10月8日にかけて実施し、全部で76人（質問紙での回答20人、google formの回答56人）のデータを収集した。このうち、2人は留学経験者であったため分析対象から外し、74人の回答を分析対象とした。

3.2.1. 技能実習を行なった都道府県

回答者が技能実習を行なった都道府県を表1に示す。全部で31都道府県であったが、愛知県が13人と最も多い。複数回答者2人を含んでいる。

[表1 技能実習を行なった都道府県]

都道府県名	人数
愛知	13
福岡	5
宮城、兵庫、山口	各4
栃木、岡山、広島、佐賀	各3
岩手、福島、茨城、千葉、静岡、京都、鳥取、愛媛、大分、長崎、熊本	各2
北海道、埼玉、東京、神奈川、長野、富山、岐阜、滋賀、奈良、香川、徳島	各1
未回答	1

3.2.2. 技能実習を行なった期間

回答者が技能実習を行なった期間を表2に示す。3年が最も多く、64人(86.5%)である。1年未満は2人と少なく、ほとんどが技能実習2号(あるいは特定活動(技能実習))を経験している。

[表2 技能実習を行なった期間]

期間	人数(割合)
～1年未満	2(2.7%)
1年～2年未満	5(6.8%)
2年～3年未満	3(4.0%)
3年	64(86.5%)

3.2.3. 技能実習の職種

回答者の技能実習の職種を表3に示す。回答は自由記述であったため、「卵拾い」や「印刷機やテレビ、電子コンロなどの基盤」といった作業内容を書いたものや、「溶接」や「とび」といった職種で答えているものがあつた。それらを、厚生労働省が定めている「技能実習制度 移行対象職種」⁸⁾

の大分類にあてはめて集計した。分類7「その他」のみ職種名で分類している。

[表3 技能実習の職種]

職種分野	人数 (割合)
機械・金属	20 (27.0%)
食品製造	20 (27.0%)
その他 (プラスチック成形)	7 (9.5%)
農業関係	7 (9.5%)
建設関係	4 (5.4%)
繊維・衣服	4 (5.4%)
その他 (紙器・段ボール箱製造)	4 (5.4%)
その他 (製本)	3 (4.1%)
その他 (溶接)	3 (4.1%)
その他 (印刷)	1 (1.3%)
未回答	1 (1.3%)

3.2.4. 日本語能力試験 (JLPT) のレベル

回答者が取得している日本語能力試験の認定レベルは、表4の通りである。N1はおらず、全員がN2あるいはN3であった。

[表4 日本語能力試験のレベル]

レベル	人数 (割合)
N2	44 (59.5%)
N3	30 (40.5%)

4. 調査結果と分析

4.1. 日本語教師になった時期と理由

ここでは、元技能実習生が日本語教師になろうと思った時期と理由についてみていく。まず、日本語教師という職業選択をした時期(表5)は、「ベトナム帰国後」が最も多く(32人、43.2%)、次が「技能実習が終わるころ」(14人、18.9%)である。

[表5 日本語教師になろうと思った時期]

時期	人数(割合)
技能実習生応募時	6 (8.1%)
ベトナムの送出機関での研修のころ	12 (16.2%)
日本で技能実習を始めたころ	9 (12.1%)
日本での技能実習が終わるころ	14 (18.9%)
ベトナム帰国後	32 (43.2%)
その他(高校卒業時から)	1 (1.4%)

また、日本語教師として働き始めた理由(表6)は、「日本語を使う仕事をしたかった」と「日本語を教えることに興味があった」が特に多く、この二つをあわせると8割近くになる。「日本語教師は次のキャリアに繋がる」「日本語教師は条件がいい(給料、仕事内容が楽)」「送出機関に誘われた」を選んだ回答者はいなかった。その他の回答は、「日本で体験したことを後輩に伝えたい」が6人、「いい実習生を日本に送りたい」が1人、「日本語教育は、ベトナムと日本をつなぐ橋渡して社会に非常に役立つから」が1人であった。

[表6 日本語教師として働き始めた理由(単一回答)]

理由	人数
日本語を使う仕事をしたかった	30 (42.3%)
日本語を教えることに興味があった	26 (36.6%)
日本語教師の仕事は将来性があると思った	2 (2.8%)
知り合いが日本語教師をしていた	2 (2.8%)
通勤が便利	2 (2.8%)
日本語教師以外の仕事を見つけないのが難しい	1 (1.4%)
日本語教師の仕事をしたら、次にいい仕事が見つけれられる	0 (0.0%)
日本語を教える仕事は楽だと思った	0 (0.0%)
日本語教師が一番よい給料になると思った	0 (0.0%)
自分が勉強した送出機関から誘われた	0 (0.0%)
その他	8 (11.3%)

※複数回答した3人のデータを除く。全71人。

ここで、日本語教師になろうと思った時期別に日本語教師を選んだ理由を見てみると、「技能実習生応募時」と「その他（高校卒業時から）」の7人のうち、「日本語を教えることに興味があったから」が5人、「日本語を使う仕事をしたかった」が1人、「その他（高校を出てから日本語が好きだった）」が1人で、技能実習生を選択した当初から、日本語教育や日本語そのものに興味を持っていることがわかる。「技能実習が終わるころ」や「ベトナム帰国後」に日本語教師になろうと考えた者は、「日本語を使う仕事をしたかったから」を理由として一番多く選択しており（46人中24人）、日本語教師を日本語能力を活かせる職業として捉えていることがわかる。また、「通勤が便利」「日本語教師以外の仕事を見つけるのが難しい」「知り合いが日本語教師をしていた」を選択したのは、すべて「技能実習が終わるころ」や「ベトナム帰国後」であり、ここからもベトナムで送出国関の「日本語教師」が比較的容易にアクセスできる職業であることがうかがえる。

4.2. 日本語教師としていつまで働くか

彼らが日本語教師としてのキャリアを長期的視野に立って考えているのかどうかを知るために「日本語教師の仕事はあとどのくらい続けるつもりですか」と訊いた。その結果を表7に示す。「ずっと続けるつもり」が25人（33.8%）で最も多かったが、約3分の2にあたる49人（66.2%）は、日本語教師を期間限定の職業として捉えていることがわかった。

[表7 日本語教師を続ける予定]

期間	人数（割合）
6か月以内	5（6.8%）
6か月～1年程度	1（1.3%）
1～2年程度	10（13.5%）
2～3年程度	10（13.5%）
3～5年程度	23（31.1%）
ずっと続けるつもり	25（33.8%）

また、「日本語教師のほかに、将来他の仕事をしたいか」という問いに対しては、55人（74.3%）が「はい」と答え、「いいえ」と答えたのは、

19人(25.7%)だった。他の仕事をしたいと答えた55人のうち、「どんな仕事をしたいか」について答えてもらったところ、表8の結果となった。「ベトナムの日系企業」、「特定技能ビザで来日」など、他の「日本語を使う仕事」に関心を持っていることが分かる。

ある送出機関の教務責任者は、「教師研修の一環として日本語能力試験の勉強会を行なっているが、N2に合格すると退職してしまう教師が多く、教師の日本語能力を上げたいのはやまやまだが、教師の定着率が悪くなるジレンマに陥っている」と述べていた。4.1の日本語教師を選んだ理由で「日本語を使う仕事をしたい」が一番多かったこともあわせて考えると、元技能実習生の日本語教師の多くが「日本語教師」を「日本語を使える仕事の一選択肢」と捉えており、「教える仕事」をしたいから選んでいるわけではないと言えるだろう。

[表8 日本語教師以外でしたい仕事(単一回答)]

仕事の内容	人数(割合)
ベトナムの日系企業	24(45.5%)
特定技能ビザで来日する	13(23.6%)
起業	6(10.9%)
送出機関の営業	5(9.1%)
ベトナムの日本と関係ない企業	3(5.5%)
その他	4(7.3%)
日本でエンジニアとして働く	2(3.6%)
日本語通訳	1(1.8%)
まだ分からない	1(1.8%)

4.3. 帰国後に技能実習の仕事を選ばない理由

元技能実習生の日本語教師が技能実習の仕事を選んでいない理由を表9に示す。

[表9 技能実習の仕事を選んでいない理由 (単一回答)]

理由	人数 (割合)
技能実習と同じ仕事は将来自分のキャリアに役立たない	18
技能実習と同じ仕事は体力的にきつい	12
技能実習と同じ仕事は住んでいる場所から通えない	10
技能実習と同じ仕事はベトナムでの給料がよくない	6
技能実習と同じ仕事は面白くない	4
その他	22

※複数回答した2人のデータを除く。全72人。

「その他」と答えた22人の内容を見ると、「ベトナムでは同じ仕事がない(8人)」「ベトナムではやり方が違う(2人)」「ベトナムでは女性がする仕事ではない(2人)」と、技能実習の職種とベトナムの職業との不一致を理由としたものが多い。他には、教師になることを意識していたもの(「日本語教師を目指していた(4人)」、「技能実習の経験を伝えたい(1人)」、「結婚する/した(2人)」、「技能実習の仕事が好きではない(2人)」、記述なしは1人だった。

4.4. 技能実習生の経験で役に立っていると捉えていること

「あなたにとって技能実習生の経験で一番役に立っていることは何か」と訊いたところ、74人全員から回答を得た(日本語での回答28人、ベトナム語での回答46人)。役に立った内容を表す記述部分に意味特徴のキーワードを付けたところ、全部で32種類、105のキーワードが抽出できた⁹⁾。これをさらにグルーピングしたところ、「働き方(51)」「働く態度(22)」「日本人の考え方(11)」「新しい経験(11)」「日本語能力(8)」「日本の文化(2)」と大きく6つに分類できた。

一番言及が多かったのは、「働き方」に関するもので、14種類のキーワードが抽出された。下にキーワードを示す。括弧内は言及した人数である。

日本人の働き方(21)、時間管理(10)、報連相(4)、チームワーク(3)、細心の注意(2)、計画性(2)、マナー(2)、問題の解決方法(1)、段取り(1)、他者への配慮(1)、整理整頓(1)、集団行動(1)、正確さ(1)、事前計画(1)

働く態度については、以下のようなキーワードが抽出された。

勤勉さ (1)、責任感 (5)、笑顔 (2)、自律性 (2)、挨拶 (1)、学び続けること (1)、
忍耐力 (1)、丁寧さ (1)、向上心 (1)、規律正しさ (1)、我慢強さ (1)

岩下 (2018) の結果と同様、職業に関する技能そのものに関する言及は見られず、働き方や働く態度に関する言及と日本語や日本人とのコミュニケーション体験そのものに言及しているものが多かった。今回の調査対象が日本語教師と限定された対象であるため、帰国後製造業に就いた元技能実習生にも日本での経験で何が役に立っているのか調査する必要がある。しかしながら、技能実習制度が問題視される理由のひとつである「特定の職種に関するスキル」の技術移転ができていないことだけに注目するのではなく、技術移転の目標を、日本語能力も含め働き方や態度など、あらゆる業種で働く際に必要となるスキルの習得と捉えなおす必要もあるのではないだろうか。帰国後のキャリア選択の可能性を広げた技能実習制度を設計していくことは、技能実習制度を活用して技能実習生一人ひとりが自身のキャリアを形づくっていくためにも、今後重要になると考える。

5. 考察と今後の課題

本稿では、ベトナムの送出機関で働く元技能実習生の日本語教師を対象に、彼らがどのような意識で職業選択をしているのか、アンケート調査を行ない、考察を試みた。日本語教師になることを目標に掲げ、技能実習生という手段を用いて日本へ行き、日本語を習得している人がいる一方で、彼らの多くは、日本語教師を「日本語を使える仕事の選択肢のひとつ」と捉えており、将来は別の職業に就くことを考えていることが判明した。現在、ベトナムでは送出機関での日本語教師が慢性的に不足し、教師養成が急務となっている。長くても3～5年程度しか日本語教師を続けるつもりがない教師が多数派である状況では、これまで考えられてきたような、日本語教師を時間をかけて養成する方法を採ることは難しい。また今後、ベトナムの経済が成長するにつれ、技能実習生（あるいは特定技能）の供給地が別の国に移行することも予想され、その場合、ベトナムの日本語教師の需要は確実に減少する。このように、経済状況により大きく日本語教育業界が影響を受ける海外においては、長期的視野に立って日本語教師の数を増やすことは難しく、日本語教師としての経験を次につなげられる教師

養成が求められるだろう。

今後も送出機関での調査を継続し、将来、職業を変更する可能性が高い日本語教師で構成される日本語教育機関で、教師のキャリア形成と日本語教育の質の向上を目指すための教師養成には何が必要か、さらに考察を進めていきたい。

注

- 1) 法務省「平成30年末現在における在留外国人数について」
http://www.moj.go.jp/nyuukokukanri/kouhou/nyuukokukanri04_00081.html
- 2) 2011（平成23）年の数字は研修生3388人を含んだ数である。2010年7月に改正された入管法により、在留資格「研修」が「技能実習1号」、在留資格「特定活動（技能実習）」が「技能実習2号」となった。
- 3) ベトナムにおける技能実習生送出機関数は、2019年9月現在327社である。
（外国人技能実習機構 外国政府認定送出機関一覧 ベトナム
<https://www.otit.go.jp/files/user/190906-3.pdf>）
- 4) 筆者が話を聞いた送出機関で勤務経験がある複数の日本人日本語教師も、送出機関の約8割が元技能実習生であると言っており、送出機関の日本語教育は元技能実習生が中心的な役割を果たしていると推測できる。
- 5) 「雇用されて働いている（22.0%）」、「雇用されて働くことが決まっている（13.7%）」または「起業している（16.3%）」と回答した人の合計。
- 6) 2018年度の調査は、2017年7月から11月までの間に帰国（予定を含む）した22,863人を対象とし、有効回答者数は5,359人である。対象国は中国、ベトナム、インドネシア、フィリピン、タイである。
- 7) 質問紙全体は、巻末資料を参照のこと。
- 8) 技能実習評価試験の整備等に関する専門家会議による確認の上、第2号又は第3号技能実習への移行に係る技能実習において技能実習生が修得等をした技能等の評価を客観的かつ公正に行なうことができる公的評価システムとして整備された技能検定等を有する職種・作業の総称。
（外国人技能実習機構 Web サイト <https://www.otit.go.jp/ikoutaishou/>）
- 9) 例えば、「どんな事に対しても真面目に一所懸命する事、そう出来たら、どんな仕事をやっても成功出来るはずです。」という記述には「勤勉さ」というキーワードを付与した。1人の回答で複数のキーワードを付しているものもある。

参考文献

- 岩下康子 (2018) 「技能実習生の帰国後キャリアの考察—ベトナム人帰国技能実習生の聞き取り調査を通して—」『広島文教女子大学紀要』第53号、pp. 33-44
- 岩下康子 (2019) 「技能実習生の帰国後キャリアの一考察」、移民政策学会2019年度年次大会抄録
- 上林千恵子 (2009) 「一時的外国人労働者受入れ制度の定着過程：外国人技能実習制度を中心に」『社会志林』56、pp. 39-63、法政大学社会学部学会
- 木元茜・東弘子・藤倉哲郎 (2016) 「日本語教師になる元技能実習生の現状—インドネシア人技能実習生の帰国後のキャリアから問う技能実習制度—」『愛知県立大学外国語学部紀要』第50号、pp. 105-129
- グエン・ティ・ホアン・サー (2013) 「日本の外国人研修制度・技能実習制度とベトナム人研修生」『佛教大学大学紀要社会学研究科篇』第41号、pp. 19-34
- 厚生労働省 (2018) 「2017年度帰国技能実習生フォローアップ調査」(概要)
<https://www.mhlw.go.jp/content/11808000/000337660.pdf>
- 厚生労働省 (2018) 「外国人技能実習制度の現状、課題について (資料3)」
https://www.meti.go.jp/policy/mono_info_service/mono/fiber/ginoujissshukyougikai/180323/3_mhlw-genjyoukadai.pdf
- 公益財団法人国際研修協力機構 (2017) 「2017年度帰国予定 (6ヶ月以内) 技能実習生による技能実習評価調査結果報告」
<https://www.jitco.or.jp/download/data/tyousakekka2017.pdf>
- 財団法人国際研修協力機構 (2010) 「外国人研修生・技能実習生の日本語調査第一次調査 (速報)」
https://www.jitco.or.jp/about/data/chousa_houkoku/prompt_report.pdf
- 西川直孝 (2018) 「ベトナム人帰国技能実習生の就業状況に関する研究—就業選択行動と所得を中心に—」、移民政策学会2018年度年次大会抄録
- 法務省 (2015) 「第5次出入国管理基本計画」

[資料] アンケート調査紙

Đây là phiếu khảo sát lấy đối tượng là giáo viên tiếng Nhật đã từng đi Nhật với tư cách là thực tập sinh kỹ năng. Tôi rất mong các bạn chia sẻ những kinh nghiệm khi là thực tập sinh kỹ năng và về công việc dạy tiếng Nhật của các bạn. Tôi chỉ sử dụng thông tin mà các bạn cung cấp với mục đích nghiên cứu, những thông tin cá nhân sẽ được bảo mật. Các bạn vui lòng viết câu trả lời bằng tiếng Việt hoặc tiếng Nhật. Rất mong nhận được sự hợp tác của các bạn.

このアンケートは、技能実習生として日本に行った経験のある日本語教師のみなさんを対象にしたものです。技能実習生としての経験や日本語教師の仕事について、教えてください。いただいた情報は、研究のためだけに活用し、みなさんのプライバシーは守られます。回答はベトナム語か日本語で書いてください。どうぞご協力お願いいたします。

- 1) Bạn đã sống ở tỉnh nào của Nhật khi là thực tập sinh kỹ năng?
技能実習生として、日本のどの都道府県に行きましたか。

- 2) Bạn đã làm thực tập sinh kỹ năng mấy năm?
何年間技能実習生をしましたか。
① Dưới 1 năm 1年未満 ② 1 năm ~ dưới 2 năm 1年～2年未満
③ 2 năm ~ dưới 3 năm 2年～3年未満 ④ 3 năm 3年

- 3) Bạn đã thực tập kỹ năng trong lĩnh vực gì?
技能実習の分野は何でしたか。

- 4) Hãy chọn một phương án tương ứng với trình độ JLPT của bạn.
JLPTのレベルを教えてください。
① N5 ② N4 ③ N3 ④ N2 ⑤ N1 ⑥ Tôi chưa từng dự thi 受験したことがない ⑦ Tôi đã dự thi nhưng không đỗ 受験したが不合格だった

- 5) Bạn đã dự định trở thành giáo viên tiếng Nhật từ khi nào? Hãy chọn một phương án thích hợp. Nếu trong các phương án dưới đây không có câu trả lời thích hợp thì bạn hãy viết vào mục 「その他」

いつ、日本語教師になろうと思いましたか。一つ選んでください。選択肢にない場合は、「その他」に書いてください。

- ① Khi tôi đăng ký đi thực tập kỹ năng 技能実習生に応募したころ
- ② Khi tôi tham gia đào tạo tại công ty xuất khẩu lao động ở Việt Nam
ベトナムの送り出し機関で研修をしていたころ
- ③ Khi tôi bắt đầu thực tập kỹ năng tại Nhật
日本で技能実習を始めたころ
- ④ Khi kết thúc thời gian thực tập kỹ năng tại Nhật
日本での技能実習が終わるころ
- ⑤ Khi tôi về Việt Nam sau khi kết thúc thời gian thực tập kỹ năng
技能実習が終わって、ベトナムに帰国してから
- ⑥ Khác その他 ()

- 6) Hãy cho tôi biết lý do bạn làm giáo viên tiếng Nhật? Hãy chọn một phương án thích hợp nhất. Nếu trong các phương án dưới đây không có câu trả lời thích hợp thì bạn hãy viết vào mục 「その他」

日本語教師として働き始めた理由は何ですか。最も当てはまるものを一つ選んでください。選択肢にない場合は、「その他」に書いてください。

- ① Bởi vì tôi nghĩ giáo viên tiếng Nhật sẽ nhận được mức lương tốt nhất
日本語教師が一番よい給料になると思ったから
- ② Bởi vì tôi muốn làm công việc sử dụng tiếng Nhật
日本語を使う仕事をしたかったから
- ③ Bởi vì tôi thích dạy tiếng Nhật
日本語を教えることに興味があったから
- ④ Bởi vì dạy tiếng Nhật là một công việc khá nhàn
日本語を教える仕事は楽だと思ったから
- ⑤ Bởi vì khó tìm công việc khác ngoài công việc dạy tiếng Nhật
日本語教師以外の仕事を見つけるのが難しいから
- ⑥ Bởi vì tôi đến chỗ làm rất tiện 通勤が便利だから

- ⑦ Bởi vì tôi nghĩ công việc dạy tiếng Nhật rất có tương lai
日本語教師の仕事は将来性があると思ったから
- ⑧ Bởi vì nếu làm công việc dạy tiếng Nhật, sau này tôi có thể tìm được một công việc tốt
日本語教師の仕事をしたら、次にいい仕事が見つけれられるから
- ⑨ Bởi vì người quen của tôi cũng đang làm giáo viên tiếng Nhật
知り合いが日本語教師をしていたから
- ⑩ Bởi vì công ty xuất khẩu lao động mà trước kia tôi học đã mời tôi
自分が勉強した送り出し機関から誘われたから
- ⑪ Khác その他 ()

7) Hãy cho tôi biết lý do bạn không làm công việc giống thời gian thực tập kỹ năng sau khi về nước? Nếu trong các phương án dưới đây không có câu trả lời thích hợp thì bạn hãy viết vào mục 「その他」

技能実習の仕事を帰国後にしていない理由は何ですか。最も当てはまるものを一つ選んでください。選択肢にない場合は、「その他」に書いてください。

- ① Bởi vì công việc giống thời gian thực tập kỹ năng không nhận được mức lương tốt
技能実習と同じ仕事は、ベトナムでの給料がよくないから
- ② Bởi vì công việc giống thời gian thực tập kỹ năng rất nặng nhọc về thể chất
技能実習と同じ仕事は、体力的にきついから
- ③ Bởi vì nơi tôi đang sống đến chỗ làm công việc giống thời gian thực tập kỹ năng không tiện
技能実習と同じ仕事は、自分の住んでいる場所から通えないから
- ④ Bởi vì công việc giống thời gian thực tập kỹ năng không thú vị
技能実習と同じ仕事は、面白くないから
- ⑤ Bởi vì công việc giống thời gian thực tập kỹ năng không giúp ích cho sự nghiệp tương lai của tôi
技能実習と同じ仕事は、将来、自分のキャリアに役に立たないから
- ⑥ Khác その他 ()

- 8) Bạn dự định làm công việc dạy tiếng Nhật trong khoảng bao lâu nữa? Hãy chọn một phương án thích hợp nhất với suy nghĩ hiện tại của bạn.
日本語教師の仕事はあとどのくらい続けるつもりですか。今の考えで一番当てはまるものを選んでください。
- ① Dưới 6 tháng 6か月以内
 - ② Khoảng 6 tháng ~ 1 năm 6か月~1年程度
 - ③ Khoảng 1 năm ~ 2 năm 1~2年程度
 - ④ Khoảng 2 năm ~ 3 năm 2~3年程度
 - ⑤ Khoảng 3 năm ~ 5 năm 3~5年程度
 - ⑥ Tôi dự định làm công việc này mãi ずっと続けるつもり
- 9) Trong tương lai, bạn có muốn làm công việc nào khác không?
将来他の仕事をしたいと考えていますか。
- ① Có はい
 - ② Không いいえ
- 10) Ngoài công việc dạy tiếng Nhật, bạn muốn làm công việc như thế nào? Hãy chọn một phương án thích hợp nhất với suy nghĩ hiện tại của bạn. Nếu trong các phương án dưới đây không có câu trả lời thích hợp thì bạn hãy viết vào mục 「その他」
日本語教師以外の仕事で、次にどんな仕事をしたいですか。今の考えで一番当てはまるものを選んでください。ない場合は「その他」に書いてください。
- ① Làm công việc kinh doanh công ty xuất khẩu lao động
送り出し機関の営業の仕事をする
 - ② Làm việc tại công ty Nhật ở Việt Nam
ベトナムにある日系企業で働く
 - ③ Làm việc tại Nhật theo visa kỹ năng đặc định
日本で特定技能のビザで働く
 - ④ Làm việc tại công ty không liên quan đến Nhật tại Việt Nam
ベトナムの日本とは関係のない企業で働く
 - ⑤ Tự thành lập công ty 自らの会社を作る
 - ⑥ Khác その他 ()

- 11) Kinh nghiệm nào có ích nhất đối với bạn trong số các kinh nghiệm bạn có được khi là thực tập sinh kỹ năng? Bạn hãy viết ý kiến của mình.

あなたにとって技能実習生の経験で一番役に立っていることは何だと思えますか。自由に書いてください。

Trên đây là tất cả nội dung khảo sát. Cảm ơn sự hợp tác của các bạn.
ご協力ありがとうございます。